NEWS RELEASE

２０２６年8月３日

報道各社　御中

伊賀ふるさと農業協同組合（ＪＡいがふるさと）
全国農業協同組合連合会三重県本部（ＪＡ全農みえ）

果汁たっぷり、甘みが強い！
伊賀ブランド「白鳳梨」が本格出荷

ＪＡいがふるさと管内の伊賀市羽根地区で生産する特産「白鳳梨（はくほうなし）」の出荷が、同地区の農事組合法人白鳳梨生産組合で本格化します。

今年産は、天候に恵まれて順調に生育がすすみました。梅雨明け後、好天が続いており、例年に増して食味のよい果実に仕上がることが期待されます。

出荷最盛期を迎える白鳳梨の集出荷のようすを、ぜひ取材いただきたく、下記のとおりご案内申しあげます。

記

１．日　　時：２０２６年８月６日（木）１４時～（選果・出荷作業）
※当日は、主力品種「幸水」の今シーズンの初選果日ではございませんが、一定の出荷量を見込める上記日程にご取材をいただけますと幸いです。
※当日の出荷量や作業の進行状況により、上記時刻は前にずれる場合がございます。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

２．場　　所：農事組合法人白鳳梨生産組合 選果場
伊賀市羽根４０５－１　℡０５９５－２１－５８６２

３．内　　容：各園地で収穫された梨を選果、箱詰めし、市場などへ出荷します。

以上

【この件に関するお問い合わせ先】
ＪＡいがふるさと　企画・広報課　　TEL ０５９５－２４－５１１１
ＪＡ全農みえ　　企画課　　TEL ０５９－２２９－９０７１

【参考資料】

白鳳梨（はくほうなし）とは

「白鳳梨」は、１９４８年（昭和２３年）から伊賀市羽根地区で栽培が始まり、現在、生産農家２０戸が約１５．９ヘクタールで栽培しています。白鳳梨の名は、このナシが栽培されている伊賀市の上野城の別名「白鳳城」に由来します。

盆地ならではの寒暖差の大きい気候を生かしつつ、有機肥料を中心とした土づくりや、果実に袋かけをしない栽培方法（無袋栽培／むたいさいばい）で日光をたっぷりと浴びるようにして育て、果汁が豊富で甘みが強いのが特徴です。

今年産の出荷は、８月下旬までが「幸水（こうすい）」、以降は「豊水（ほうすい）」が９月中旬ごろまで続く見通しです。県内（市場、直売）や関西地区（市場）への出荷で計約４００トンを見込んでいます。

同地区の農事組合法人白鳳梨生産組合（前田篤組合長）は、２００３年（平成１５年）からすべての農家が環境保全型農業に取り組み、若手生産者も熱心に栽培しており、活気のある生産活動を行っています。

人と自然にやさしい生産方式でつくられた農畜産物などを県が認定する「みえの安心食材」を取得しており、さらに、生産組合としてＪＧＡＰ取得に向けて取り組み、より安全・安心なナシの出荷に努めています。

２０１５年（平成２７年）には、伊賀を代表する優れた商品を伊賀市などが認定する「伊賀ブランド　ＩＧＡＭＯＮＯ」に選ばれました。また、２０１７年（平成２９年）からは香港に向けて輸出を行っており、さらなる全国へのＰＲと販路の拡大をめざして取り組んでいます。

選果場での作業のようす

箱詰めされた白鳳梨